

## エジプトにおける特別活動を中心とする日本型教育の導入と受容に関する研究

キーワード：教育移転、教育借用、日本型教育、特別活動、Tokkatsu、エジプト

国際協力学専攻 中岡 裕策 (47-186799)

指導教員 池本 幸生教授

### 1. 研究背景

近年、諸外国による日本型教育への関心の高まりと、日本政府の海外展開政策が相まって、日本型教育の海外展開が急速に進んでいる。この背景には、日本型教育の輸入（借用）を希望する諸外国と輸出（貸与）を推進する日本国内関係者の利害の一致があり、新興国を中心に、就学前教育から高等教育に至る幅広い分野において海外展開が図られている。

しかし、日本型教育の海外展開のスピードに比して、海外展開時の留意点に関する体系的な検討・整理は進んでおらず、借用国内での日本型教育の導入を促進/阻害する要因も必ずしも明らかになっていない。グローバル化により、様々な教育モデルが国民国家の枠を超えて今まで以上に容易に拡散する時代が到来する中、他国の教育モデル借用による「性急な決定 (Quick Fix Decision)」にはリスクが伴うことが指摘されている (Phillips, D and Ochs, K., 2003)。児童にとり日々の教育は連続的で不可逆的な営みである点を踏まえると、いかなる教育政策であっても失敗を最大限回避することが求められる。

### 2. 目的

本研究は、エジプトを事例とし「特別活動を中心とする日本型教育の導入と受容を促進/阻害する要因を明らかにすること」を目的としている。また、上記の目的に付随して、日本型教育の導入がエジプトの教育現場にどのような変容をもたらしているかを明らかにすることも試みる。

### 3. 先行研究

「教育移転 (Educational Transfer)」と「特別活動を中心とした日本型教育の海外展開」の2つに類型化し、先行研究の到達点と限界の整理を試みた。

「教育移転 (Educational Transfer)」に関しては、David Phillips Kimberly Ochs によって構築された教育借用の4段階説 (Phillips & Ochs, 2003) が挙げられ

る。Phillips & Ochs はある国から別の国へ教育移転が生じるプロセスを「第1段階：国境を越えた誘因 (Cross-National Attraction)」、「第2段階：決定 (Decision)」、「第3段階：実施 (Implementation)」、「第4段階：内在化 (Internalization)」に分け、教育移転の発生メカニズムを明らかにした。

「特別活動を中心とした日本型教育の海外展開」に関しては、Lewis (1995)、Tsuneyoshi (2019)、Tanaka (2019)らが挙げられる。Lewis は、日本の教育を“Whole Child’s Development” (p. 203)と形容し、主に就学前教育と初等教育における日本の全人的教育の特徴を海外研究者の視点から明らかにした。Tsuneyoshi らは *TOKKATSU-The Japanese Educational Model of Holistic Education (2019)* を通じて、日本の特別活動の特徴を取り纏め、Tanaka (2019)は上述の書の中で、エジプトへの特別活動を中心とした日本型教育の導入の経緯や現状を概括した。

先行研究のレビューの結果、「教育移転」の分野においては、教育移転がなぜ起こるのか、どのような段階を経て起こるのかという理論は明らかにされているが、教育移転時にどのような点に留意すべきか、という実践的な方策の検討が十分になされているとは言い難い点、「特別活動を中心とした日本型教育の海外展開」に関しては、日本から他国への移転はエジプトの事例が初めてということもあり、研究数が限られ、特別活動導入によって教育現場で生じている変容や導入時の促進/阻害要因等を体系的に考察した研究の蓄積はされていない点を指摘できる。従って、本研究では、エジプトを事例に特別活動を中心とした日本型教育の導入と受容の促進/阻害要因の導出を試みた。

### 4. リサーチ・クエッションと研究手法

RQ：エジプトでの特別活動を中心とする日本型教育の導入と受容を促進/阻害する要因は何か。

本研究は文献調査とエジプトでのフィールド調査を通じた事例研究から成る。フィールド調査は

特別活動を中心とする日本型教育を導入している公立小学校を4校選定し、以下の質的調査を実施した(既存公立校から2校、新規公立校から2校を選定)。

- ・学校現場レベルを対象とした半構造化インタビュー
- ・政策レベルを対象とした半構造化インタビュー
- ・特別活動(朝礼、学級会、日直、掃除等)の参与観察
- ・教員の勤務実態に関する質問票調査
- ・教員の職務意識に関する質問票調査

## 5. 結論

《特別活動の導入によってエジプトの教育現場にもたらされた変容》

本研究の結果、①日直が受容されていることが明らかになった。また、日直導入の副次的効果として平等意識の高まりが確認された。②朝礼の導入により、遅刻の減少、きまりを遵守する姿勢や規律が高まったとする見解が得られた。③学級会(話し合い活動)と④掃除については、いずれも外形的な導入がされているものの、導入には困難が伴ったことが明らかになった。

《エジプトでの日本型教育の導入と受容を促進/阻害する要因は何か》

・モデルの修正を伴う「現地化」が特別活動を中心とする日本型教育の導入を促進しうる。本研究ではそれらを①段階的・限定メニューでの導入、②教育インフラの違いへの配慮(ハード面)、③教育制度・教育行財政の違いに対する配慮(ソフト面)の3つに類型化した。

・日本とエジプト間の価値観や職務意識などの「ギャップ」が特別活動を中心とする日本型教育の受容を阻害しうる。本研究ではそれらを①文化・価値観の相違、②保護者及びコミュニティーの理解・支持の不足、③教員の勤務時間・職務意識の差の3つに類型化した。

## 6. 示唆

第一に、モデルの修正を伴う「現地化」は特別活動を中心とする日本型教育の導入を促進するが、現地化すればするほど日本型教育の「型」が崩れるというアンビバレントな関係が成り立つ。「現地化」によって現地の教育に何等かのプラスの変容がもたらされているのであれば、肯定的に評価されるべきであるが、「現地化」が際限なく進み、「日本型」とは言い難い教育実践が、現地で「日本型」として定

着する場合は、「型」の正当性が問われうる。個々の事例により状況が異なるため、「現地化」に定まった解は存在しえないが、貸与国と借用国の双方向の対話が最適解の導出に寄与すると考えられる。

第二に、価値観や認識の「ギャップ」を埋めるためには、学校のみならず、保護者やコミュニティーも包摂した一貫的なアプローチが必要になる。特別活動を中心とした日本型教育は学校内だけでは完結し得ない。保護者やコミュニティー等も含めた社会全体での取り組みが重要な役割を果たしうる。但し、「ギャップ」の克服は、貸与国からの一方向的な教育モデルや文化の押し付けにならないように留意する必要がある、借用国の文化や規範を踏まえることが欠かせない。一方で、教育移転の過程で貸与国が借用国の教育事例から学ぶこともありうる。日本の教員の長時間勤務の課題等を踏まえると貸与国のモデルが常に正しいとは限らない。恒吉(2017)の言葉を借りれば、「海外からの視点は、実践者にとっても己を見る鏡となりうる」。日本型教育の海外展開は、海外という鏡を通して、日本の教育を再考する機会をもたらす取り組みとも言える。

## 7. 参考文献

- 佐藤仁(2018)「教育借用から考える「場」としての規範的比較教育政策論の可能性」『比較教育学研究』第57号、13-31頁
- 杉田洋(2018)「エジプトでのTOKKATSUの現状と可能性」『日本特別活動学会紀要』第26号、1-7頁
- 田中正弘(2005)「教育借用の理論：最新研究の動向」『人間研究』第41号、29-39頁
- 恒吉僚子(2017)「Tokkatsuの国際化」『日本特別活動学会紀要』第25号、19-21頁
- Lewis, Catherine. (1995), *Educating Hearts and Minds: Reflections on Japanese Preschool and Elementary Education*, Cambridge University Press
- Phillips, D. and Ochs, K., (2003) "Processes of Policy Borrowing in Education: some explanatory and analytical devices", *Comparative Education*, Vol.39, No.4, p. 455
- Ryoko Tsuneyoshi (2019), "The Tokkatsu Framework: The Japanese Model of Holistic Education", in Ryoko Tsuneyoshi and Hiroshi Sugita (Eds.), *Tokkatsu Japanese Educational Model of Holistic Education*, World Scientific Publishing, pp. 3-35
- Shinichiro Tanaka (2019), "Tokkatsu Plus in Egypt: Extending the Tokkatsu Concept", in Ryoko Tsuneyoshi and Hiroshi Sugita (Eds.), *Tokkatsu Japanese Educational Model of Holistic Education*, World Scientific Publishing, pp. 225-250